

# 2024年2月期 第3四半期(2023年度)決算説明会資料

---

2023年12月25日

株式会社高島屋

# アジェンダ

- I. 2024年2月期 第3四半期業績(2023年度)
- II. 2024年2月期 計画(2023年度)

# I

## 2024年2月期 第3四半期業績(2023年度)

---

1. 第3四半期業績のポイント
2. 連結業績
3. 国内百貨店業績
4. 主要グループ会社業績(国内)
5. 主要グループ会社業績(海外)

# 1. 第3四半期業績のポイント

○連結では、各利益とも前年、10月計画に対する想定を上回り、営業利益、経常利益は上期に引き続き、当期純利益は3Q累計において、過去最高を更新。

---

○国内百貨店は、国内顧客、インバウンド売上高が伸長したことに加え、商品利益率の改善基調、コスト構造改革の効果が継続し、想定を上回る大幅な営業増益。

○グループ会社においても、国内では東神開発、海外ではシンガポール2社がけん引し、想定通りの増収増益。

## 2. 連結業績

- ✓ 総額営業収益は国内外とも堅調に推移し、2019年を超える水準
- ✓ 販管費は増加を最小限に抑制、総額営業収益販管費比率は改善
- ✓ 各利益とも前年、10月計画に対する想定を上回り、過去最高を更新

(単位：億円)	3Q累計 (3~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	上期 (3月~8月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	3Q (9~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減
総額営業収益	6,824	+7.9%	+0.8%	4,476	+8.3%	△1.2%	2,347	+7.3%	+5.0%
営業収益	3,342	+5.2%	△50.6%	2,212	+5.8%	△51.2%	1,130	+3.9%	△49.4%
販売管理費	1,698	+37	△224	1,128	+26	△157	570	+11	△67
総額営業収益 販売管理費比率	24.9%	△1.4	△3.5	25.2%	△1.5	△3.2	24.3%	△1.3	△4.2
営業利益	332	+104	+129	208	+80	+74	124	+24	+56
経常利益	358	+114	+164	222	+76	+95	136	+38	+69
純利益	243	+13	+78	150	+14	+26	93	△1	+52

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益として、記載しています。

## 3-1. 国内百貨店業績

- ✓ 総額営業収益は国内顧客、インバウンドとも伸長し、2019年を超過
- ✓ 販管費はコスト構造改革の継続推進により、前年同水準に抑制
- ✓ 営業利益は大幅増益となり、連結業績に大きく寄与

(単位：億円)	2022年度			2021年度			2020年度		
	3Q累計 (3~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	上期 (3月~8月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	3Q (9~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減
総額営業収益	5,767	+6.7%	+0.9%	3,770	+6.6%	△1.3%	1,997	+6.9%	+5.4%
総額売上高	5,655	+6.8%	+0.9%	3,696	+6.7%	△1.4%	1,959	+6.9%	+5.4%
商品利益率 (総額売上高比)	22.29%	△0.13	△1.50	22.28%	△0.06	△1.47	22.31%	△0.26	△1.57
(百貨店店頭)	(22.63%)	(+0.16)	(△1.59)	(22.64%)	(+0.20)	(△1.59)	(22.60%)	(+0.06)	(△1.58)
販売管理費	1,232	+4	△168	820	+0	△116	413	+4	△52
総額営業収益 販売管理費比率	21.4%	△1.4	△3.1	21.7%	△1.4	△2.7	20.7%	△1.2	△3.9
営業利益	139	+61	+96	77	+42	+49	62	+19	+47

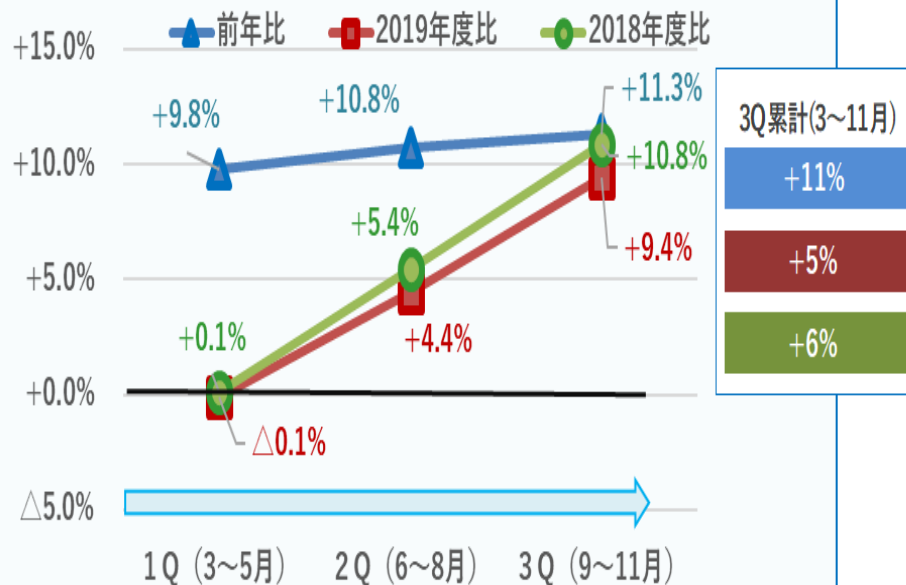
※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益、売上高を総額売上高として記載しています。

## 3-2. 国内百貨店（各店 店頭）売上高推移

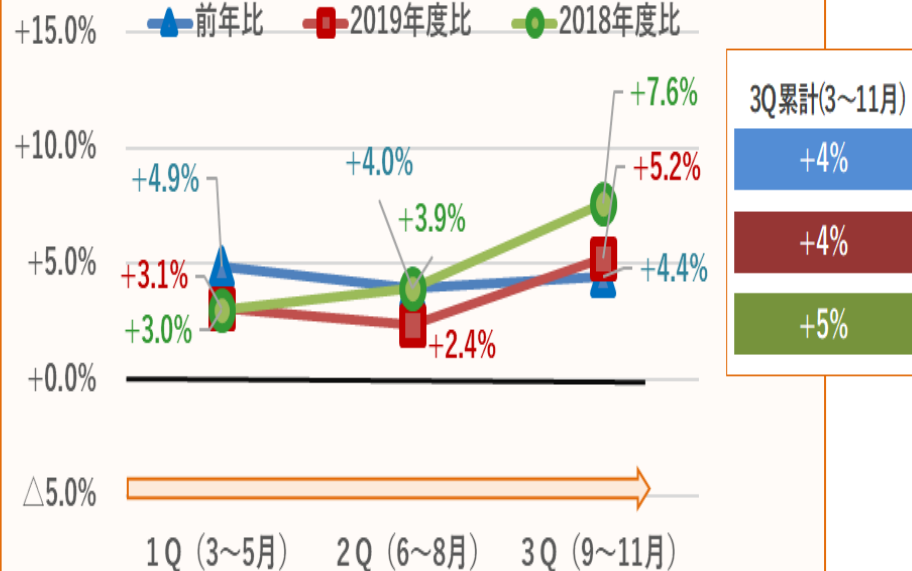
- ✓ 総売上高の前年比は2桁伸長、2019年、2018年も上回る水準
- ✓ 国内顧客売上高は、3Q累計において各年度から超過
- ✓ 特にコロナ、消費増税前2018年比で段階的に伸長する堅調な推移

○総売上高・国内顧客売上高推移 ※前年比・2019年度比・2018年度比（既存店）

### 総売上高



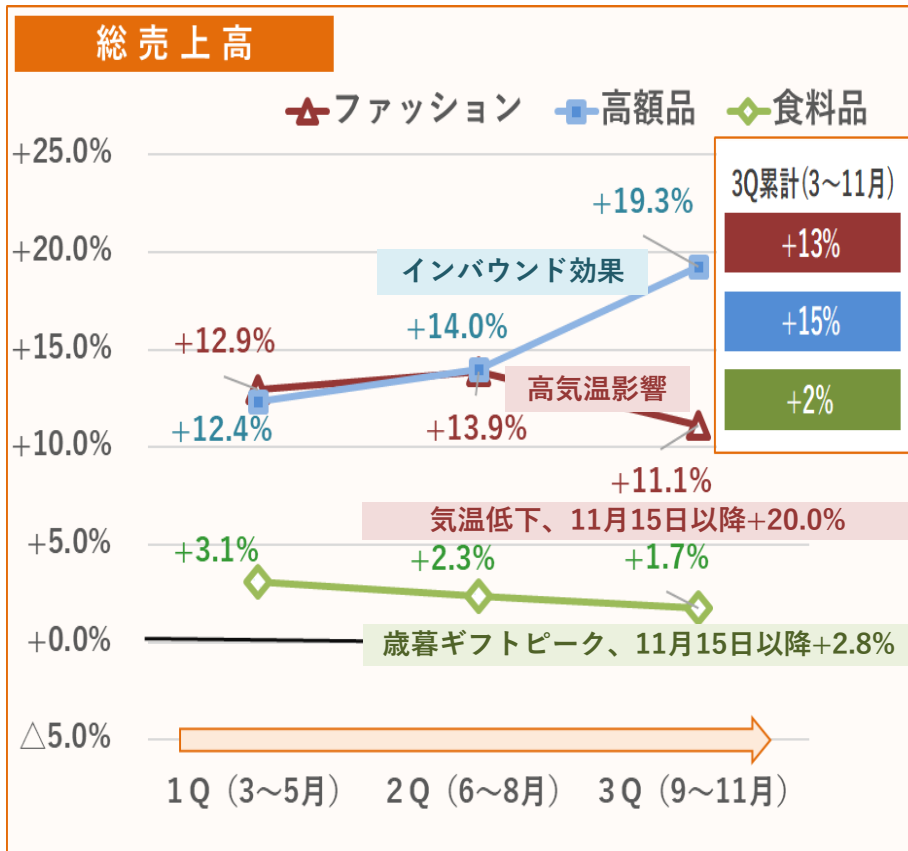
### 国内顧客売上高（インバウンド除く）



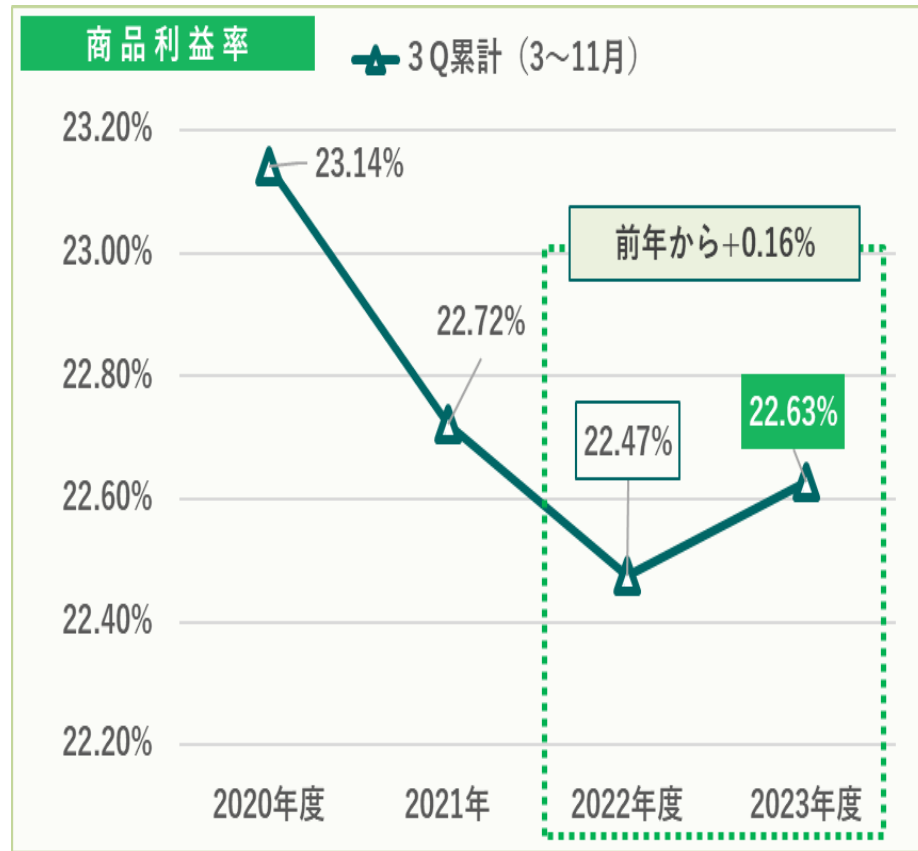
### 3-3. 国内百貨店(各店 店頭) 商品別売上高・利益率推移

- ✓ ファッションは高気温影響も2桁伸長、気温低下に伴い伸長率拡大
- ✓ 高額品はファッション伸長率を上回るが商品利益率の改善は継続
- ✓ 正価品売上高拡大など、商品利益率向上への取り組みが進捗

○商品別売上高推移 ※前年比



○商品利益率推移 (3Q累計3~11月)





### 3-4. 国内百貨店販売管理費

- ✓ ベースアップや新規催事など営業力強化で前年から37億円増加
- ✓ コスト構造改革は着実に進捗し、前年から33億円削減
- ✓ 合計4億円の微増にとどめ、総額営業収益販売管理費比率は改善

(単位：億円)	3Q累計 (3~11月)		前年増減 内訳				3Q (9~11月)		前年増減 内訳			
	前年増減	前年増減	比例費増加	コスト増 (光熱費ベースアップ他)	営業力強化・政策	コスト構造改革	前年増減	前年増減	比例費増加	コスト増 (光熱費ベースアップ他)	営業力強化・政策	コスト構造改革
人件費	375	△4		8		△11	127	△1		3		△3
宣伝費	81	+12	3		9	0	33	+5	1		5	0
総務費・庶務費	568	△1	9	2	6	△19	189	+1	4		4	△7
経理費	208	△3				△3	64	△2				△2
合計	1,232	+4	12	10	15	△33	413	+4	5	3	8	△12
総額営業収益販売管理費比率	21.4%	△1.4	37増加				20.7%	△1.2	16増加			
			(△3.1 ※2019年度増減)						(△3.9 ※2019年度増減)			

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

## 4. 主要子会社業績(国内)

- ✓ 東神開発は賃料収入増、コスト抑制により増収増益
- ✓ TFPはカード取扱高伸長で増収も先行投資により、僅かに減益
- ✓ その他、グループ会社においても順調に進捗し、想定通りの水準

(単位：億円)

		3Q 累計 (3~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年増減	上期 (3~8月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年増減	3Q (9~11月)	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年増減
東 神 開 発	営業収益	446	+31.3%	+33.3%	322	+44.2%	+44.9%	124	+6.4%	+10.3%
	営業利益	66	+20	+14	45	+16	+12	20	+3	+2
高島屋ファイナンシャル ・パートナーズ (TFP)	営業収益	161	+1.8%	△0.1%	106	+1.9%	+0.1%	55	+1.7%	△0.5%
	営業利益	34	△0	△5	23	△0	△4	12	△0	△1
高島屋スペースクリエイツ (TSC)	営業収益	211	+30.3%	△21.2%	143	+47.0%	△22.2%	68	+5.1%	△18.8%
	営業利益	△5	△0	△18	1	+4	△6	△6	△5	△11
アール・ティー・ コーポレーション	営業収益	99	+14.0%	+11.4%	66	+14.3%	+8.3%	34	+13.5%	+18.0%
	営業利益	4	+1	△1	2	+1	△1	1	+0	+1
センチュリー アンド カンパニー	営業収益	52	+8.4%	△35.1%	33	+4.3%	△37.6%	19	+16.5%	△30.2%
	営業利益	2	+0	△1	1	+0	△1	1	+0	△0
イー・ティ・イー	営業収益	51	+4.9%	△21.9%	31	+2.4%	△25.9%	20	+9.1%	△14.7%
	営業利益	6	△0	△4	3	△0	△3	3	+0	△1
グッドリブ	営業収益	34	+3.8%	+41.5%	20	+14.6%	+47.7%	14	△8.0%	+33.8%
	営業利益	4	△1	+2	1	+0	+2	2	△1	+0

※東神開発はティーアンドティー、TSCはTSC東北との合算値、  
TFPは高島屋クレジットと高島屋保険の合算値との2019年比/2019年増減です。

## 5. 主要子会社業績(海外)

- ✓ シンガポール2社は内需、インバウンドの回復により増収増益
- ✓ 上海は増収も前年の「コロナ費用特別損失振替」反動で僅かに減益
- ✓ ベトナムは増収増益と持続的に成長、サイアムは赤字幅縮小

(単位:億円)		3Q 累計 (1~9月)	前年比/ 前年増減	(内 為替 影響)	2019年度年比/ 2019年度増減	(内 為替 影響)	現地通貨建て		上期 (1~6月)	前年比/ 前年増減	2019年度年比/ 2019年度増減	3Q (7~9月)	前年比/ 前年増減	2019年度年比/ 2019年度増減
							前年比	2019年度比						
タカシマヤ シンガポール	営業収益	180	+22.9%	-	+49.9%	-	+10.8%	+15.3%	117	+27.7%	+43.1%	62	+14.8%	+64.5%
	営業利益	54	+14	(+5)	+21	(+13)	-	-	35	+11	+13	19	+3	+9
トーシンディベロップメント シンガポール(TDS)	営業収益	80	+18.4%	-	+21.7%	-	+6.7%	△6.4%	52	+20.6%	+17.5%	28	+14.4%	+30.5%
	営業利益	25	+7	(+3)	+2	(+6)	-	-	16	+5	+1	9	+2	+1
上海 高島屋	営業収益	22	+21.5%	-	△15.5%	-	+19.9%	△31.8%	15	+25.7%	△7.8%	7	+13.1%	△28.7%
	営業利益	0	△0	(+0)	△1	(+0)	-	-	1	△0	+1	△1	△0	△2
タカシマヤ ベトナム	営業収益	22	+3.3%	-	+53.9%	-	△2.1%	+22.1%	14	+7.2%	+51.0%	8	△3.4%	+59.8%
	営業利益	5	+1	(+0)	+5	(+1)	-	-	4	+1	+3	2	+0	+2
サイアム タカシマヤ	営業収益	19	+31.7%	-	+57.3%	-	+21.2%	+36.6%	12	+39.9%	+61.3%	6	+18.0%	+50.0%
	営業利益	△4	+2	(△0)	+3	(△0)	-	-	△3	+1	+2	△1	+0	+1

本年 1SGD=103.98JPY 1CNY=19.72JPY 1VND=0.0058JPY 1THB=4.02JPY

前年 1SGD=93.74JPY 1CNY=19.46JPY 1VND=0.0055JPY 1THB=3.70JPY

# II

## 2024年2月期 計画(2023年度)

---

1. 通期計画のポイント
2. 連結計画
3. 国内百貨店計画

# 1. 通期計画のポイント

○連結では、10月計画に対する3Q想定からの上振れ分を上方修正。  
各利益は最高益をさらに更新する計画。

---

○上方修正は、好調に推移する国内百貨店のインバウンド売上高。

○国内外のグループ会社は10月計画から修正なし。

## 2. 連結計画

- ✓ 総額営業収益は国内百貨店のインバウンドで上方修正
- ✓ 営業利益+10億円、経常利益+20億円、当期純利益+5億円上方修正
- ✓ 各利益とも最高益を更新する計画

(単位:億円)	通期計画	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	10月13日 計画比/増減	上期実績	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	下期計画	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	10月13日 計画比/増減
総額営業収益	9,490	+7.6%	+3.3%	+0.5%	4,476	+8.3%	△1.2%	5,014	+7.1%	+7.6%	+1.0%
営業収益	4,670	+5.3%	△49.2%	+0.4%	2,212	+5.8%	△51.2%	2,458	+4.9%	△47.2%	+0.8%
販売管理費	2,315	+28	△286	+0	1,128	+26	△157	1,187	+2	△129	+0
総額営業収益 販売管理費比率	24.4%	△1.5	△3.9	△0.1	25.2%	△1.5	△3.2	23.7%	△1.6	△4.6	△0.2
営業利益	450	+125	+194	+10	208	+80	+74	242	+45	+120	+10
経常利益	470	+125	+238	+20	222	+76	+95	248	+49	+143	+20
純利益	300	+22	+140	+5	150	+14	+26	150	+7	+114	+5

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益として、記載しています。

### 3. 国内百貨店計画

- ✓ 総額営業収益はインバウンドで+50億円、+0.6%の上方修正
- ✓ 商品利益率、販売管理費は修正なし
- ✓ 営業利益は+10億円の上方修正、通期188億円の計画

(単位:億円)	通期計画				上期実績			下期計画			
	前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	10月13日 計画比/増減		前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減		前年比/ 前年増減	2019年度比/ 2019年度増減	10月13日 計画比/増減	
総額営業収益	8,050	+6.8%	+3.8%	+0.6%	3,770	+6.6%	△1.3%	4,280	+7.0%	+8.9%	+1.2%
総額売上高	7,901	+6.9%	+3.9%	+0.6%	3,696	+6.7%	△1.4%	4,205	+7.1%	+9.1%	+1.2%
商品利益率 (総額売上高比)	22.30%	+0.01	△1.32	+0.00	22.28%	△0.06	△1.47	22.32%	+0.08	△1.18	+0.00
販売管理費	1,726	+24	△177	+0	820	+0	△116	906	+24	△61	+0
総額営業収益 販売管理費比率	21.4%	△1.1	△3.1	△0.1	21.7%	△1.4	△2.7	21.2%	△0.9	△3.4	△0.3
営業利益	188	+78	+146	+10	77	+42	+49	111	+36	+96	+10

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益、売上高を総額売上高として記載しています。

## 以下、参考資料

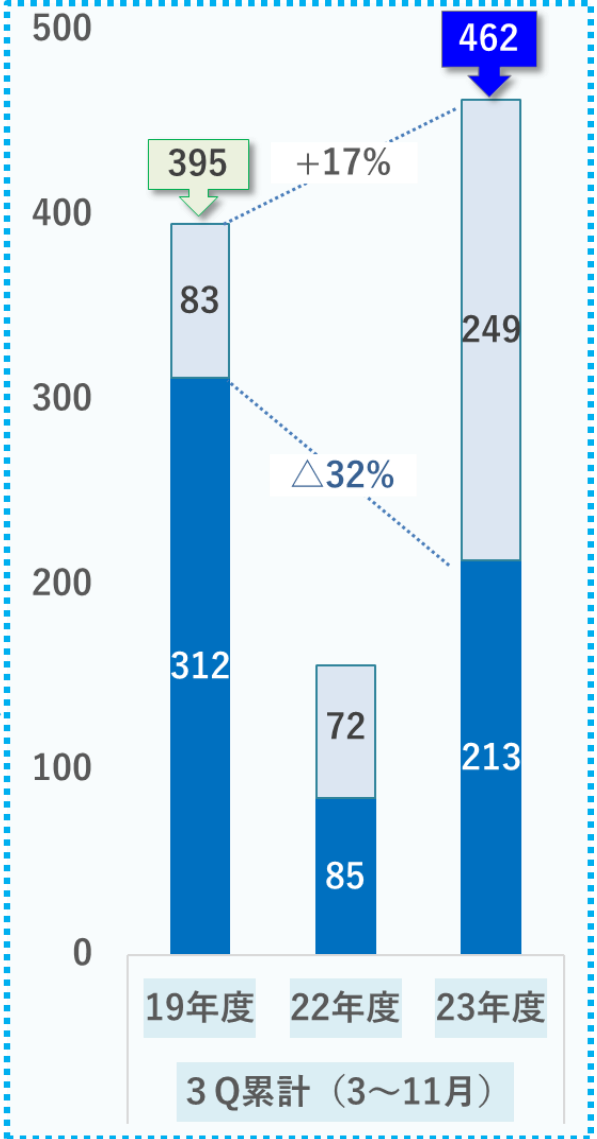
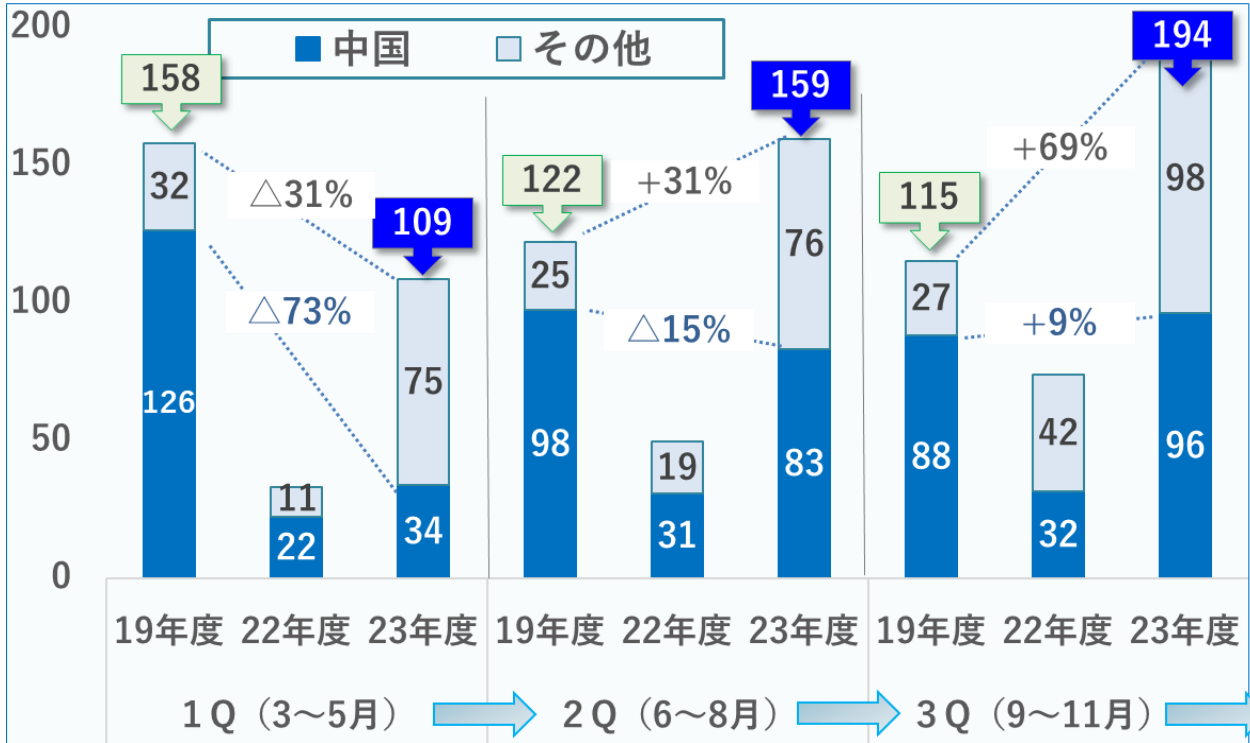
---

1. 国内百貨店(各店 店頭) インバウンド売上高 実績
- 2-1. セグメント別 総額営業収益 実績
- 2-2. // 計画

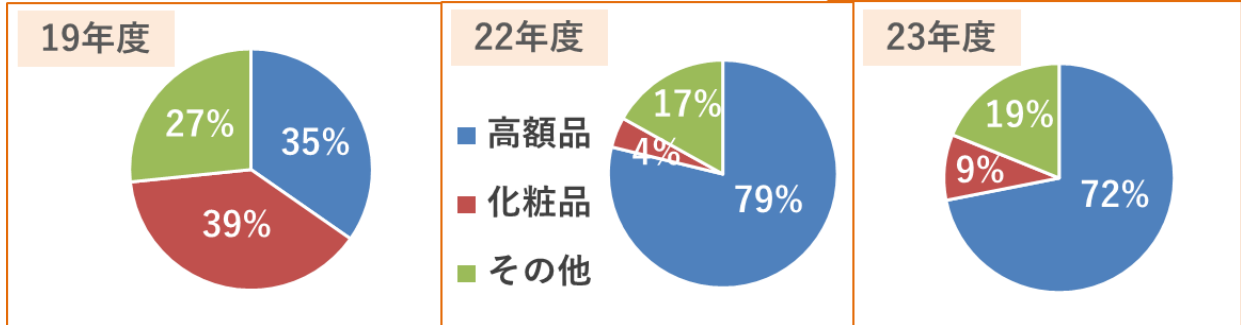


# 参考1. 国内百貨店(各店 店頭)インバウンド売上高 実績

(単位：億円)



○ 3Q累計 (3~11月) 商品別売上高シェア



## 参考2-1. セグメント別 総額営業収益 実績

(単位：億円)	3Q 累計 (3~11月)		上期 (3月~8月)		3Q (9~11月)	
		前年比		前年比		前年比
百貨店業	5,907	+8.5%	3,863	+8.3%	2,044	+8.8%
商業開発業	384	+9.3%	251	+10.2%	133	+7.5%
金融業	130	+1.4%	86	+0.2%	44	+3.7%
建装業	182	+22.4%	133	+47.3%	49	△15.9%
その他の事業	220	△11.5%	143	△13.2%	77	△8.1%
連結計	6,824	+7.9%	4,476	+8.3%	2,347	+7.3%

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益として、記載しています。

## 参考2-2. セグメント別 総額営業収益 計画

(単位：億円)	通期計画			上期実績		下期計画	
	前年実績	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
百貨店業	8,133	7,576	+7.4%	3,863	+8.3%	4,270	+6.5%
商業開発業	565	475	+18.8%	251	+10.2%	314	+26.8%
金融業	175	172	+1.8%	86	+0.2%	89	+3.3%
建装業	279	227	+23.0%	133	+47.3%	146	+6.9%
その他の事業	338	368	△8.1%	143	△13.2%	195	△3.9%
連結計	9,490	8,818	+7.6%	4,476	+8.3%	5,014	+7.1%

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、  
2021年度までの計上方法による営業収益を総額営業収益として、記載しています。